

島嶼国における持続性の高い海岸保全対策 Sustainable coastal protection measures at island countries		継続		
対象国の条件 : 海岸浸食のリスクの高い島嶼国				
研修コース番号 : J1804053		案件番号 : 1884916		
主分野課題 : 水資源・防災/その他水資源・防災				
副分野課題 :				
使用言語 : 英語				
案件概要				
本研修では海岸工学エンジニアを対象とし、海岸保全対策にかかる技術を移転する。日本での成功例だけでなく失敗例からの教訓も含めた海岸保全及び維持管理について知識・技術を共有し、海岸保全の基本的考え方を学ぶとともに、計画から維持管理まで含めたハードおよびソフト両面での知識の習得を目指し、参加国における今後の活動に活かす。				
目標／成果		対象組織／人材		
【案件目標】 島嶼国における持続性の高い海岸保全対策が理解される。		【対象組織】 海岸保全対策を実施する、中央省庁または地方自治体		
【成果】 1. 海岸保全対策（養浜を中心にハードとソフト対策）を理解する。 2. 自然環境保全対策（森林、サンゴ）の必要性を理解する。 3. 開発と海岸保全（観光開発、護岸建設による失敗からの教訓）のバランスのとれた都市計画の重要性を理解する。 4. 海岸保全対策にかかるアクションプランを作成する。		【対象人材】 海岸保全対策を所掌する、課長・課長補佐で海岸工学の専門性を有する者で、海岸保全対策分野での実務経験が3年以上ある者。大学卒業又は同程度の学力を有していることが望ましい。		
内 容			2018/7～2018/8	
<事前活動> ・カンントリーレポートの作成 <本邦プログラム> ・我が国の海岸保全事業の事例紹介 ・海岸工学 ・沖縄県・神奈川県海岸保全計画と課題 ・各国の海岸保全対策共有ワークショップ ・珊瑚保全対策 ・自然環境保護 ・学校校等での環境教育に関する取組み紹介 ・アクションプランの作成 <事後活動> ・アクションプランの実施		本邦研修期間		
		担当課題部	地球環境部	
		所管国内機関	JICA沖縄	
			関係省庁	
			実施年度	2017～2019
主要協力機関	日本工営			
特記事項 及び ホームページ				